

各位

日本機械輸出組合
大阪支部
支部長 今村哲男

成長市場対策委員会(拡大版) オブザーバー参加の御案内

**「発足後半年を経た第3次プーチン政権のロシア」講演会の開催について
～長期政権の課題、成長と改革の見通し～**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当組成長市場対策委員会では、平成24年度第4回の会合において標記講演会をセミナー形式で企画しております。つきましては、委員以外の在阪組合員におかれましても、同セミナーへのオブザーバー参加のご案内をいたしますので、ご出欠の向きは下記要領によりお申込み頂きますようお願い致します。

敬 具

記

日 時:平成 24 年 11 月 13 日(火) 14:00～16:30

場 所:輸出繊維会館 第5会議室(B1) (大阪市中央区備後町 3-4-9 TEL:06-6201-1671):【添付地図】

講 演:「発足後半年を経た第3次プーチン政権のロシア」～長期政権の課題、成長と改革の見通し

講 師:野村総合研究所 モスクワ支店 ロシア代表 大橋巖 氏

申込方法:

ご参加ご希望の方は、別添の参加申込書をご記入の上、11 月 2 日(金)までに事務局(大阪支部:樋沢 Fax:06-6245-6343 または e-mail: hizawa@jmcti.or.jp)迄お申込みください。なお定員になり次第締め切らせて頂きます。受講頂けない場合は事務局からご連絡させて頂きます。また、同セミナーは東京に於いても 11 月 7 日に開催予定です。詳しくは<http://www.jmcti.org/> (JMC ホームページ)をご参照ください。

会 費:無料(組合員限定)

講演概要:

第 3 次プーチン体制が発足してこの 11 月で半年が経過する。この間、ロシアでは WTO への正式加盟、ウラジオストクにおける APEC サミットの開催などエポックメイキングな出来事があった。

国内では、油価に依存する産業構造の改革を推進し、ロシア経済を持続的な成長軌道に乗せようと試みる動きが見られる一方、プーチン氏による長期政権に嫌気する社会の停滞感にも根強いものがある。

ビジネス面では、日本からロシアへの輸出が急拡大しているほか、ロシアにおける生産進出や M&A に乗り出す日本企業も着実に増えてきた。年間販売台数 300 万台から 500 万台への拡大が期待される自動車市場をはじめ、近代化へのニーズが高まる産業・輸送・都市インフラ・ビジネスなど、新たな事業機会が続きと芽吹く一方、新規ビジネスの構築、市場への参入、工場立地にはクリアすべき課題もあり、ビジネスをものにしたい日本企業には旺盛な現地適応力が求められる。日本企業はこの市場をどう捉え、いかに取り組むべきか。長年にわたり現地の情勢変化を調査分析しているモスクワ駐在員が報告する。

講師略歴:

野村総合研究所・モスクワ支店・ロシア代表 大橋巖氏

上智大学外国語学部卒。ジェットロ勤務(調査部門)を経て2008年から野村総合研究所へ。ロシア(ソ連)調査暦29年。うちモスクワ駐在経験は1991~98年、2001~08年、09年~12年と延べ18年に及ぶ。ウィーン比較経済研究所(現・ウィーン国際経済研究所)客員研究員(1988~89年)、明治学院大学非常勤講師(1999~2000年度)。在モスクワ・ジャパンクラブ副会長(2007年度)。ロシア連邦地方発展省企業城下町対策専門家会議メンバー(2010年)。経済団体「実業ロシア」経済戦略提言専門家会議メンバー(2011年)。

野村総合研究所は2008年にモスクワ支店を開設。日本企業のロシア事業戦略に関するリサーチ・コンサルティングのほか、ロシアの経済特区などインフラ整備コンセプトや都市・地域開発戦略などのプロジェクト受注で実績を重ねています。

以上